

体験必ず生きる 資格試験挑戦を

県空調衛生
設備業協会 八工高で「出前授業」

社会現場の生の声 熊本地震では復旧支を聞いて学校生活に活援の要請に応じ、協会かそうと、県立八幡浜工業高校で11日、県空調衛生設備業協会による「出前授業」があり、同協会会長で、大洲市(株)土居鉄工所の土居仁社長が「何事にも挑戦する八工生活を！資格にもチャレンジしよう」をテーマに講演した。

機械技術、電気工学両科の1年生80人が聴き入るなか、土居社長は「リモコンのスイッチを押せばエアコンがつき、蛇口をひねれば水が出る。私たちの仕事は当たり前のことが当たり前であるようにすること」と案内。

大リーグ・マリーングのイチロー選手の言葉「練習は裏切ることもある」を引用し、「練習は、裏切ることもあるかもしれない。しかし、やったことは、無駄にならない。その体験が、必ず生かされる時がくる」と強調。

大学女子駅伝で初優勝した松山大チームや米チャンピオンシリーズで優勝し、ツアー3勝目をあげた松山市出身のプロゴルファー松山英樹選手の活躍を取り上げ、「苦しい練習の中で、今年こそと努力した結果」と地道な努力の継続をアピールした。

また、過去の資格試験に出題された問題を事前に生徒に出題しており、その答え合わせをしながら要点などを解説。試験に臨む心構えとして「60点以上で合格だから、肩の力を抜いて挑んでほしい」とアドバイスし、各種資格について「資格は、その仕事のプロとして飯を食うためのもの。建設業関係では必ず通らなければいけない道」と呼びかけていた。



(写真) 八幡浜工業高校の出前授業で努力の大切さや資格取得の必要性を説く土居社長